

特別活動出前講座

チーム学校で取り組む
特別活動（学級活動）の
授業づくり

オンデマンド編

島根県教育センター 浜田教育センター

オンデマンド研修のねらい

学習指導要領をもとにして

特別活動、そして特別活動の中核となる**学級活動**の
目標や内容などの基本的な事項を確認する。

はじめに

特別活動の
目標と内容

学級活動の
目標と内容

学級活動の授業の実際
(研修用動画の紹介)

ウェルビーイング (well-being)

ウェルビーイングとは **社会のウェルビーイングが共通の目的地**

私たちが望む未来
(Future We want)

それぞれの**幸せ**や**生きがい**

自分も
幸せ

あなたも
幸せ

みんな
幸せ

個人を取り巻く**場や地域、社会が幸せ、豊か**

第4期教育振興基本計画（閣議決定）



はじめに

特別活動の
目標と内容

学級活動の
目標と内容

学級活動の授業の実際
(研修用動画の紹介)



教育とウェルビーイング

日本社会に根差した
ウェルビーイングの向上

- 不登校やいじめ、貧困など、コロナ禍や社会構造の変化を背景として子供たちの抱える困難が多様化・複雑化する中で、一人一人のウェルビーイングの確保が必要
- 子供・若者に、つながりや達成などからもたらされる自己肯定感を基盤として、主体性や創造力を育み、持続可能な社会の創り手の育成を図る必要
- 地域における学びを通じて人々のつながりやかかわりを作り出し、共感的・協調的な関係性に基づく地域コミュニティの基盤を形成

教育に関連する ウェルビーイング の要素

自己肯定感

心身の健康

幸福感
・現在と将来
・自分と周りの他者

協働性

社会貢献
意識

学校や地域
でのつながり

自己実現
・達成感
・キャリア意識 等

安全安心な
環境

多様性への
理解

利他性

サポートを
受けられる環境

教育活動全体を通じたウェルビーイングの向上

特別活動で育成すべき3つの視点
「人間関係形成」「社会参画」「自己実現」との関わり

はじめに

特別活動の
目標と内容

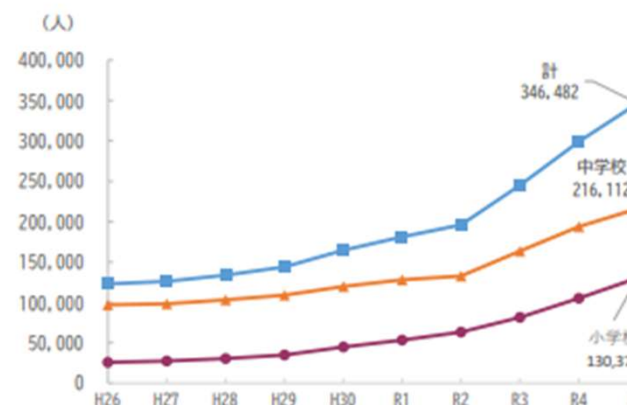
学級活動の
目標と内容

学級活動の授業の実際
(研修用動画の紹介)

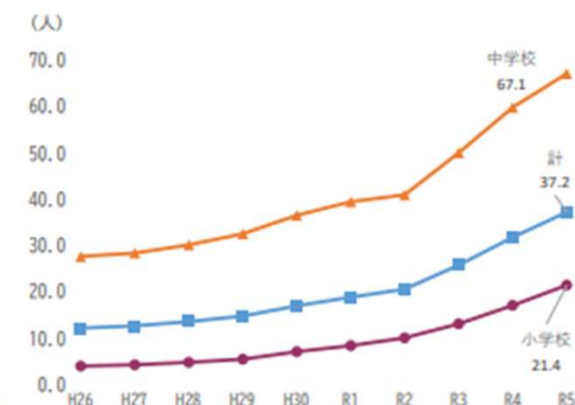
小・中学校における不登校の状況について

- 小・中学校における長期欠席者のうち、不登校児童生徒数は346,482人(前年度299,048人)であり、児童生徒1,000人当たりの不登校児童生徒数は37.2人(前年度31.7人)。
- 不登校児童生徒数は11年連続で増加し、過去最多となっている。

不登校児童生徒数の推移



不登校児童生徒数の推移 (1,000人当たり不登校児童生徒数)



不登校児童生徒数(上段)と1,000人当たりの不登校児童生徒数(下段)

	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
小学校	25,864	27,583	30,448	35,032	44,841	53,350	63,350	81,498	105,112	130,370
	3.9	4.2	4.7	5.4	7.0	8.3	10.0	13.0	17.0	21.4
中学校	97,033	98,408	103,235	108,999	119,687	127,922	132,777	163,442	193,936	216,112
	27.6	28.3	30.1	32.5	36.5	39.4	40.9	50.0	59.8	67.1
計	122,897	125,991	133,683	144,031	164,528	181,272	196,127	244,940	299,048	346,482
	12.1	12.6	13.5	14.7	16.9	18.8	20.5	25.7	31.7	37.2

23

令和5年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果の概要

はじめに

特別活動の
目標と内容

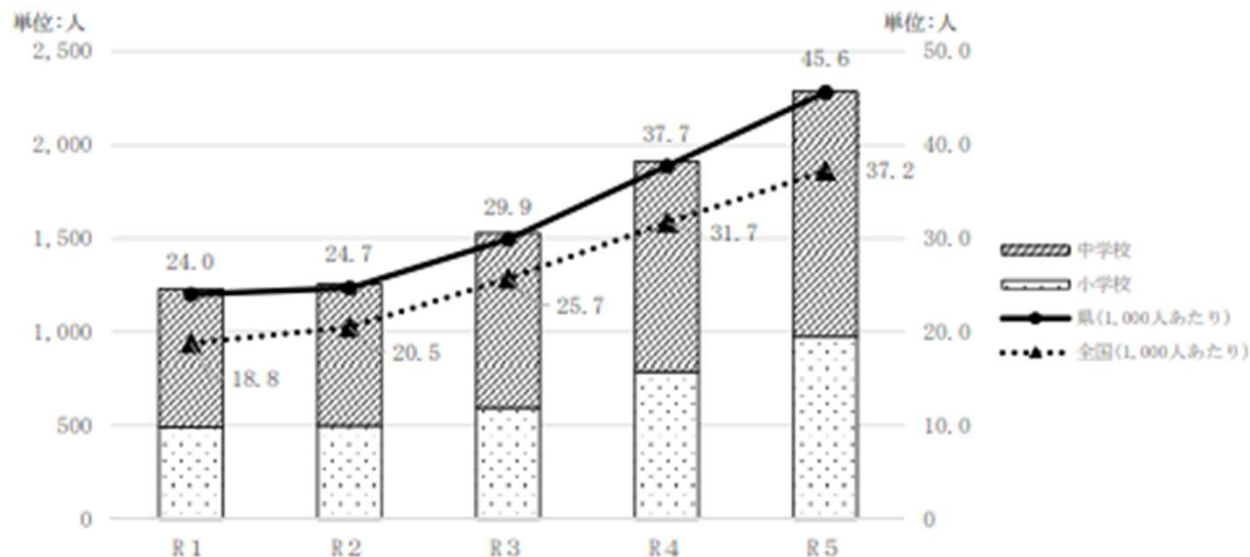
学級活動の
目標と内容

学級活動の授業の実際
(研修用動画の紹介)

島根県

資料3 小学校・中学校の長期欠席のうち不登校の状況（公立）

	小学校 不登校児童数 (1,000人あたり)	中学校 不登校生徒数 (1,000人あたり)	合 計 (1,000人あたり)	県(国公立) 不登校児童生徒数 (1,000人あたり)	全国(国公立) 不登校児童生徒数 (1,000人あたり)
R 1	491 (14.3)	739 (43.4)	1,230 (24.0)	1,257 (24.0)	(18.8)
R 2	498 (14.6)	759 (44.7)	1,257 (24.6)	1,283 (24.7)	(20.5)
R 3	595 (17.6)	933 (54.5)	1,528 (30.0)	1,551 (29.9)	(25.7)
R 4	788 (23.5)	1,123 (66.5)	1,911 (37.9)	1,937 (37.7)	(31.7)
R 5	974 (29.4)	1,309 (78.7)	2,283 (45.9)	2,315 (45.6)	(37.2)



令和5年度生徒指導上の諸課題に関する状況について

はじめに

特別活動の
目標と内容

学級活動の
目標と内容

学級活動の授業の実際
(研修用動画の紹介)

小・中学校における不登校の状況について

不登校児童生徒について把握した事実

	不登校児童生徒数	いじめの被害の情報や相談があった	いじめ被害を除く友人関係をめぐる問題の情報や相談があった	教職員との関係をめぐる問題の情報や相談があった	学業不振や頻繁な宿題の未提出が見られた	学校のきまり等に関する相談があった	転編入学、進級時の不適応による相談があった	家庭生活の変化に関する情報や相談があった	親子の関わり方に関する問題の情報や相談があった	生活リズムの不調に関する相談があった	あそび、非行に関する情報や相談があった	学校生活に対してやる気が出ない等の相談があった	不安・抑うつに関する相談があった	障害(疑い含む)に起因する特別な教育的支援の求めや相談があった	個別の配慮(障害(疑い含む)以外)についての求めや相談があった
小学校	130,370	2,350 1.8%	14,951 11.5%	5,735 4.4%	19,124 14.7%	2,622 2.0%	4,288 3.3%	12,130 9.3%	22,116 17.0%	31,937 24.5%	2,991 2.3%	42,014 32.2%	29,549 22.7%	11,454 8.8%	11,096 8.5%
中学校	216,112	2,113 1.0%	31,021 14.4%	4,548 2.1%	33,423 15.5%	4,223 2.0%	9,693 4.5%	12,822 5.9%	20,854 9.6%	47,701 22.1%	8,611 4.0%	69,617 32.2%	50,643 23.4%	12,676 5.9%	11,871 5.5%
合計	346,482	4,463 1.3%	45,972 13.3%	10,283 3.0%	52,547 15.2%	6,845 2.0%	13,981 4.0%	24,952 7.2%	42,970 12.4%	79,638 23.0%	11,602 3.4%	111,631 32.2%	80,192 23.1%	24,130 7.0%	22,967 6.6%

※「長期欠席者の状況」で「不登校」と回答した不登校児童生徒全員につき、当てはまるものをすべて回答。

※ 下段は、不登校児童生徒数に対する割合。

※「個別の配慮(障害(疑い含む)以外)についての求めや相談があった。」は、障害(疑い含む)に起因する特別な教育的支援以外の個別の配慮を指す。

26

令和5年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果の概要

はじめに

特別活動の
目標と内容

学級活動の
目標と内容

学級活動の授業の実際
(研修用動画の紹介)

島根県

島根県

		不登校を把握した事実														
		いじめの被害の情報や相談があった。	いじめの被害を除く友人関係をめぐる問題の情報や相談があった。	教職員との関係をめぐる問題の情報や相談があった。	学業の不審や頻繁な宿題の未提出が見られた。	学校のきまり等に関する相談があった。	転編入学、進級時の不適応による相談があった。	家庭生活の変化に関する情報や相談があった。	親子の関わり方に関する問題の情報や相談があった。	生活リズムの不満に関する相談があった。	あそび、非行に関する情報や相談があった。	学校生活に対してやる気が出ない等の相談があった。	不安・抑うつの相談があった。	障害（疑い含む）に起因する特別な教育的支援の求めや相談があった。	個別の配慮（左記の項目以外）についての求めや相談があった。	
R5	小学校	不登校児童生徒について把握した事実（複数回答可）	25	84	46	118	18	38	70	149	246	17	298	249	113	161
		不登校児童数（974人）に対する割合	2.6%	8.6%	4.7%	12.1%	1.8%	3.9%	7.2%	15.3%	25.3%	1.7%	30.6%	25.6%	11.6%	16.5%
	中学校	不登校児童生徒について把握した事実（複数回答可）	19	161	27	158	15	40	57	111	305	38	396	228	107	106
		不登校生徒数（1309人）に対する割合	1.5%	12.3%	2.1%	12.1%	1.1%	3.1%	4.4%	8.5%	23.3%	2.9%	30.3%	17.4%	8.2%	8.1%

※R4までは「不登校の要因」という調査項目が、R5から「不登校を把握した事実」という調査項目に変更

令和5年度生徒指導上の諸課題に関する状況について

はじめに

特別活動の
目標と内容

学級活動の
目標と内容

学級活動の授業の実際
(研修用動画の紹介)

特別活動とは何か？

学校の中に

児童生徒主体で

を創り出す
教育活動です。

共生社会でよりよく生きる力を
獲得することができる

はじめに

特別活動の 目標と内容

学級活動の 目標と内容

学級活動の授業の実際
(研修用動画の紹介)

特別活動において育成すべき資質・能力の重要な視点

人間関係形成

違いを認め合い、みんなと
共に生きていく力を育てます。

社会参画

よりよい集団や社会をつく
ろうとする力を育てます。

自己実現

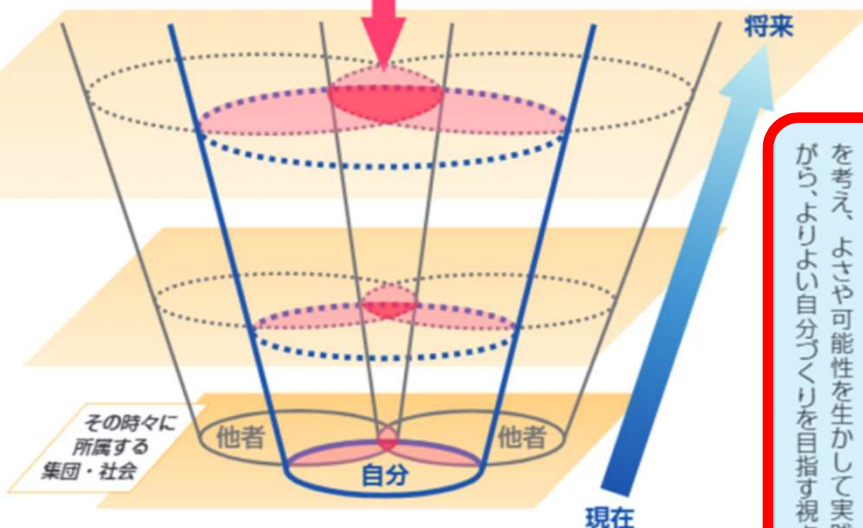
なりたい自分に向けてがん
ばる力を育てます。

築きたい人間関係

「個と個」や「個と集団」の関わりの中で、互いのよさを生かし、
協働して取り組み、よりよい人間関係を築こうとする視点です。

児童が現在、そして将来に所属する様々
な集団や社会に対して積極的に関わり、よ
りよいものにしていくとする視点です。

つくりたい社会



育成すべき資質・能力における三つの視点が関わり合って
成長していくことを示したものです。

なりたい自分

将来を見通して、今の自分にてきること
を考え、よさや可能性を生かして実践しな
がら、よりよい自分づくりを目指す視点です。

みんなで、よりよい学級・学校生活をつくる 特別活動 小学校編
文部科学省 国立教育政策研究所 教育課程研究センター

特別活動の目標

集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせ,様々な集団活動に自主的,実践的に取り組み,互いのよさや可能性を発揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決することを通して,次のとおり資質・能力を育成することを目指す。

- (1) 多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し,行動の仕方を身に付けるようにする。
- (2) 集団や自己の生活,人間関係の課題を見だし,解決するために話し合い,合意形成を図ったり,意思決定したりすることができるようにする。
- (3) 自主的,実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして,集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するとともに,人間としての生き方(自己の生き方)についての考えを深め,自己実現を図ろうとする態度を養う。

はじめに

特別活動の
目標と内容

学級活動の
目標と内容

学級活動の授業の実際
(研修用動画の紹介)

特別活動の目標(柱書)

小学校学習指導要領解説特別活動編 p 11
中学校学習指導要領解説特別活動編 p 11

集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせ、
様々な集団活動に自主的、実践的に取り組み、互い
のよさや可能性を発揮しながら集団や自己の生活
上の課題を解決することを通して、次のとおり資質・
能力を育成することを目指す。

はじめに

特別活動の
目標と内容

学級活動の
目標と内容

学級活動の授業の実際
(研修用動画の紹介)

特別活動の見方・考え方

「集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせる」 とは？

各教科等の見方・考え方を総合的に働かせながら、自己及び集団や社会の問題を捉え、よりよい人間関係の形成、よりよい集団生活の構築や社会への参画及び自己の実現に向けた実践に結び付けることである。

小学校学習指導要領解説特別活動編（以下、小解説） p13
中学校学習指導要領解説特別活動編（以下、中解説） p13

集団や社会の課題を**当事者意識をもって解決すること、すなわち、他人事ではなく、諸課題を自分のこと、自分たちのこととして捉え、自分たちがどう解決していこうかという視座で、考え、話し合い、決定し、実践し、振り返りを行うことである。**

平成29年改訂 小学校教育課程実践講座 特別活動

特別活動の目標

小学校学習指導要領解説特別活動編 p 11
中学校学習指導要領解説特別活動編 p 11

- (1) 多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。

【知識及び技能】

- (2) 集団や自己の生活、人間関係の課題を見いだし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。

【思考力, 判断力, 表現力等】

- (3) 自主的, 実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして, 集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するとともに, 人間としての生き方(※自己の生き方)についての考えを深め, 自己実現を図ろうとする態度を養う。

【学びに向かう力, 人間性等】

はじめに

特別活動の
目標と内容

学級活動の
目標と内容

学級活動の授業の実際
(研修用動画の紹介)

特別活動の特質・特徴

○集団活動

○自主的・実践的活動

○自発的・自治的活動

- 独立行政法人教職員支援機構 オンライン講座
特別活動の改訂のポイント

特別活動の目標

小学校学習指導要領解説特別活動編 p 11
中学校学習指導要領解説特別活動編 p 11

- (1) 多様な他者と協働する様々な**集団活動**の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。

自発的・自治的活動

【知識及び技能】

- (2) **集団**や自己の生活、人間関係の課題を見いだし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。

【思考力, 判断力, 表現力等】

- (3) **自主的, 実践的**な**集団活動**を通して身に付けたことを生かして、集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、人間としての生き方(自己の生き方)についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。

【学びに向かう力, 人間性等】

特別活動の目標

小学校学習指導要領解説特別活動編 p 11
中学校学習指導要領解説特別活動編 p 11

- (1) 多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。

【知識及び技能】

- (2) 集団や自己の生活, 人間関係の課題を見いだし, 解決するために話し合い, 合意形成を図ったり, 意思決定したりすることができるようにする。

【思考力, 判断力, 表現力等】

(3)

学習過程「合意形成と意思決定」

集団や
間として
ろうとす

る態度を養う。

【学びに向かう力, 人間性等】

はじめに

特別活動の
目標と内容

学級活動の
目標と内容

学級活動の授業の実際
(研修用動画の紹介)

特別活動の構成(内容)

特別活動

(全体目標) 育成すべき「資質・能力」を身に付ける

中学校の内容

生徒会活動

学級活動

学校行事

小学校の内容

児童会活動

クラブ活動

学級活動

学校行事

はじめに

特別活動の
目標と内容

学級活動の
目標と内容

学級活動の授業の実際
(研修用動画の紹介)

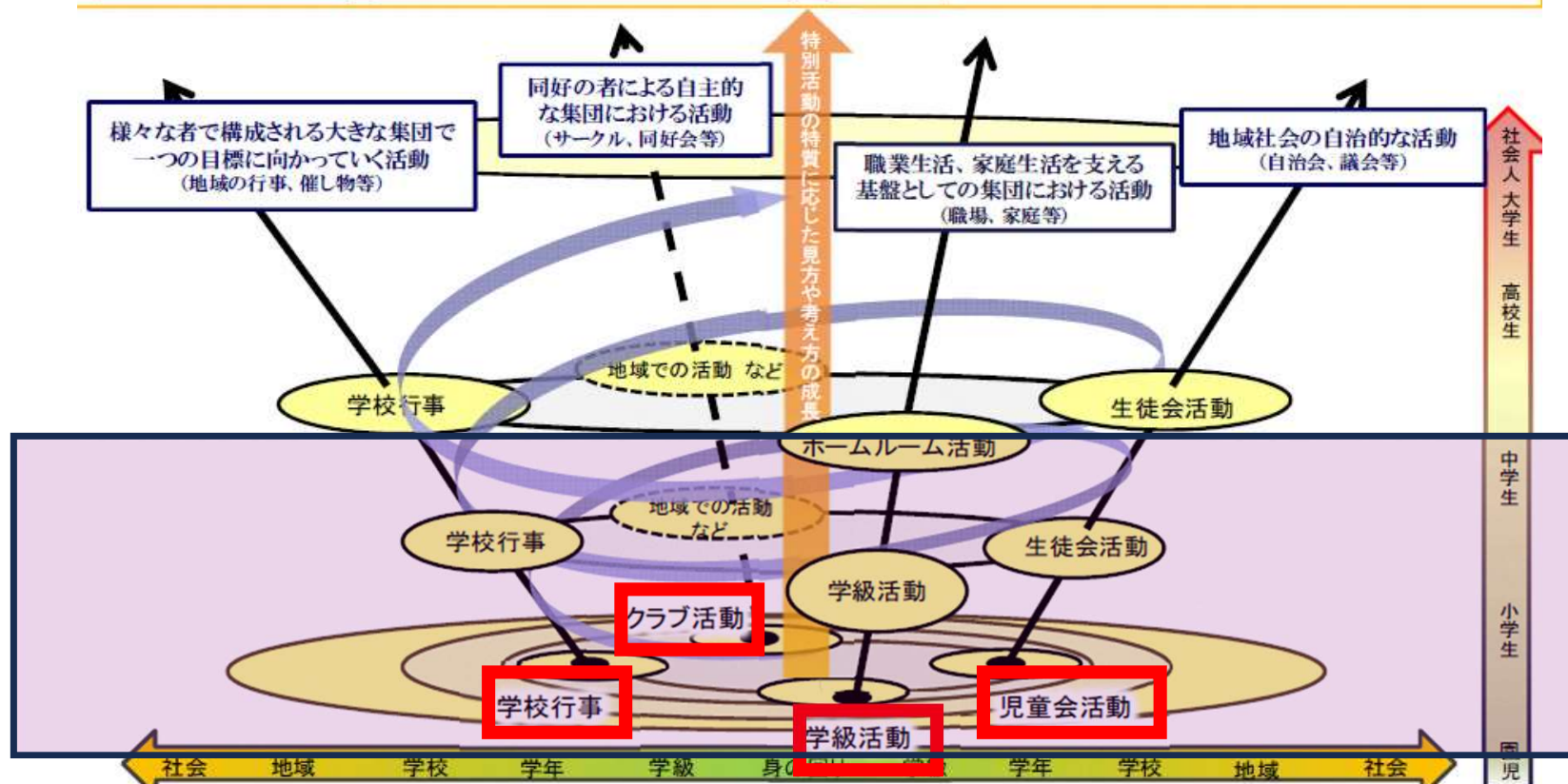
中央教育審議会資料より

特別活動における各活動の整理と「見方・考え方」(イメージ案)

平成28年6月22日
特別活動WG
資料3

《特別活動における「見方・考え方」》

各教科等の特質に応じて育まれる見方や考え方を総合的に活用して、集団や社会の形成者という視点から問題を見出し、よりよい人間関係の形成、よりよい集団生活の構築や社会への参画及び自己の実現の視点からその問題を解決するために考えること



はじめに

特別活動の
目標と内容

学級活動の
目標と内容

学級活動の授業の実際
(研修用動画の紹介)

学級活動の目標

小学校学習指導要領解説特別活動編 p 43
中学校学習指導要領解説特別活動編 p 40

学級や学校での生活をよりよくするための課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成し、役割を分担して協力して実践したり、学級での話し合いを生かして自己の課題の解決及び将来の生き方を描くために意思決定して、実践したりすることに自主的、実践的に取り組むことを通して、第1の目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。

◆学級活動の内容(中学校)

中学校学習指導要領解説特別活動編 p 44, 45

(1) 学級や学校における生活づくりへの参画

- ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決
- イ 学級内の 組織づくり や役割の自覚
- ウ 学校における多様な集団の生活の向上

(2) 日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全

- ア 自他の個性の理解と尊重、よりよい人間関係の形成
- イ 男女相互の理解と協力
- ウ 思春期の不安や悩みの解決、性的な発達への対応
- エ 心身ともに健康で安全な生活態度や習慣の形成
- オ 食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成

(3) 一人一人のキャリア形成と自己実現

- ア 社会生活、職業生活との接続を踏まえた主体的な学習態度の形成と学校図書館等の活用
- イ 社会参画意識の醸成や勤労観・職業観の形成
- ウ 主体的な進路の選択と将来設計

◆学級活動の内容(小学校)

小学校学習指導要領解説特別活動編 p 46, 47

(1) 学級や学校における生活づくりへの参画

- ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決
- イ 学級内の 組織づくり や役割の自覚
- ウ 学校における多様な集団の生活の向上

(2) 日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全

- ア 基本的な生活習慣の形成
- イ よりよい人間関係の形成
- ウ 心身ともに健康で安全な生活態度の形成
- エ 食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成

(3) 一人一人のキャリア形成と自己実現

- ア 現在や将来に希望や目標をもって生きる意欲や態度の形成
- イ 社会参画意識の醸成や働くことの意義の理解
- ウ 主体的な学習態度の形成と学校図書館等の活用

はじめに

特別活動の
目標と内容

学級活動の
目標と内容

学級活動の授業の実際
(研修用動画の紹介)

学級活動

学級活動(1)

児童生徒の、児童生徒による、
児童生徒のための活動

児童生徒が進め、合意形成する
話し合い活動

学級活動(2)(3)

学習指導要領に示された内容を教師が
意図的、計画的に指導する活動

教師が進め、生徒が意思決定する
話し合い活動

はじめに

特別活動の
目標と内容

学級活動の
目標と内容

学級活動の授業の実際
(研修用動画の紹介)

小学校学習指導要領解説特別活動編 p 46
中学校学習指導要領解説特別活動編 p 44

(1) 学級や学校における生活づくりへの参画

ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決

学級や学校における生活をよりよくするための 課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図り、実践すること。

イ 学級内の 組織づくり や役割の自覚

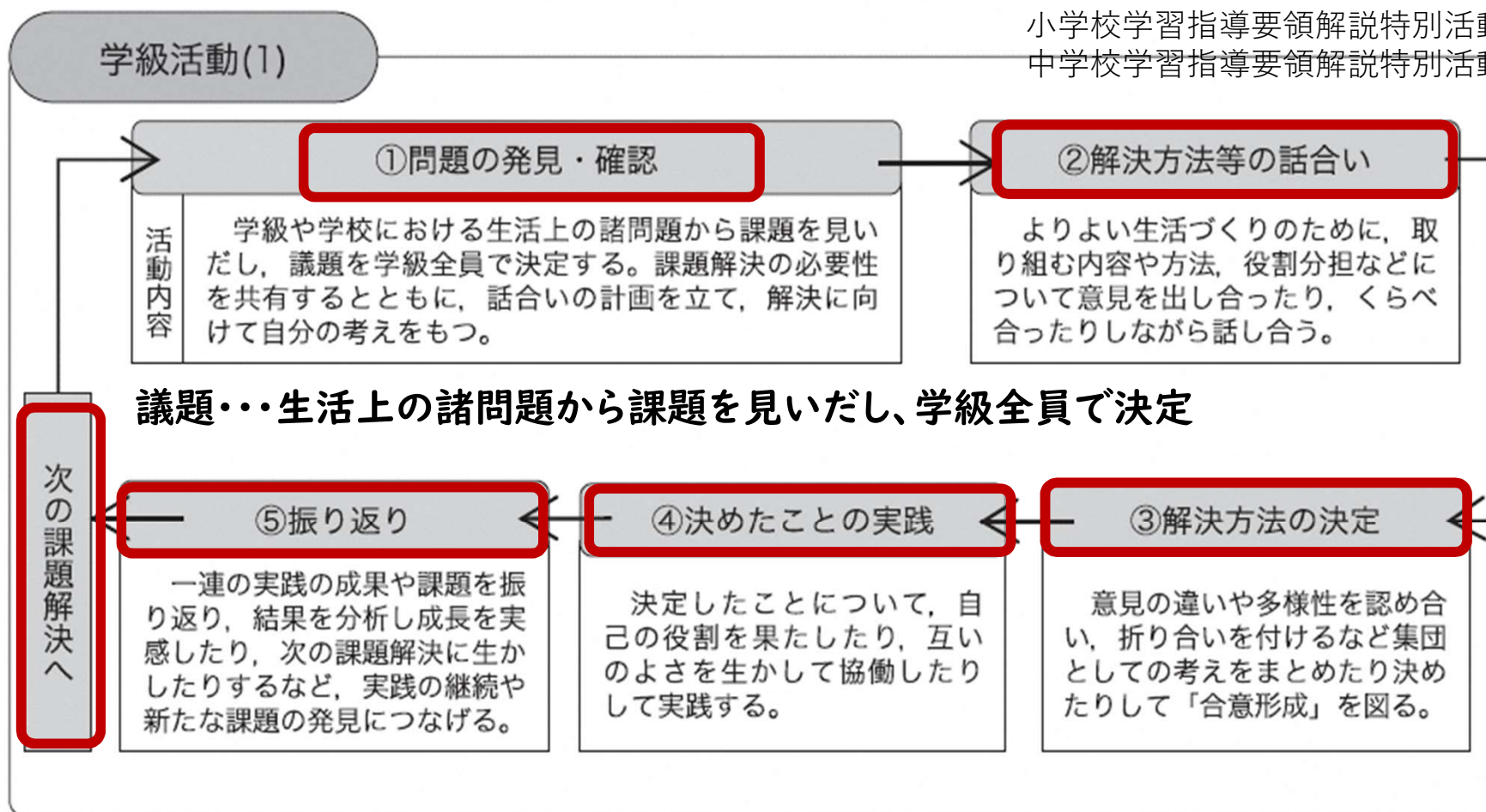
学級生活の充実や向上のため、生徒(児童)が主体的に 組織をつくり、役割を自覚しながら仕事を分担して、協力し合い実践すること。

ウ 学校における多様な集団の生活の向上

生徒会(児童会)など学級の枠を超えた多様な集団における活動や学校行事を通して学校生活の向上を図るため、学級としての提案や取組を話し合って決めること。

※学級や学校生活の充実と向上を図るために、学級の生徒(児童)全員が協働して取り組まなければ解決できないものを課題として取り上げる。

学級活動「(1)学級や学校における生活づくりへの参画」の学習過程(例)

小学校学習指導要領解説特別活動編
中学校学習指導要領解説特別活動編

p 45

p 42

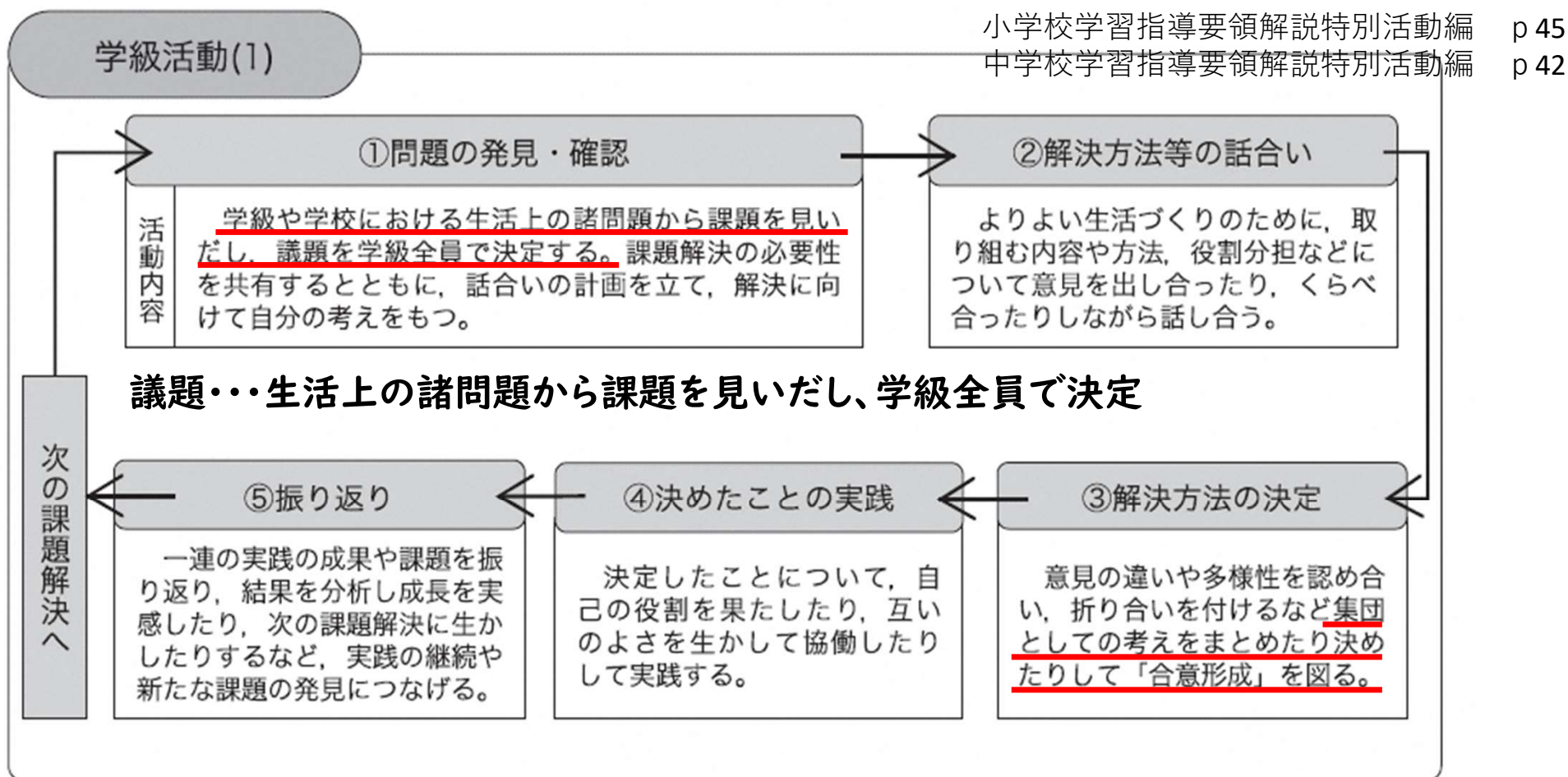
はじめに

特別活動の
目標と内容

学級活動の
目標と内容

学級活動の授業の実際
(研修用動画の紹介)

学級活動「(1)学級や学校における生活づくりへの参画」の学習過程（例）



(2) 日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全

ア 自他の個性の理解と尊重、よりよい人間関係の形成

自他の個性を理解して尊重し、互いのよさや可能性を発揮しながらよりよい集団生活をつくること。

イ 男女相互の理解と協力

男女相互について理解するとともに、共に協力し尊重し合い、充実した生活づくりに参画すること。

ウ 思春期の不安や悩みの解決、性的な発達への対応

心や体に関する正しい理解を基に、適切な行動をとり、悩みや不安に向き合い乗り越えようとする事。

エ 心身ともに健康で安全な生活態度や習慣の形成

節度ある生活を送るなど現在及び生涯にわたって心身の健康を保持増進することや、事件や事故、災害等から身を守り安全に行動すること。

オ 食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成

給食の時間を中心としながら、成長や健康管理を意識するなど、望ましい食習慣の形成を図るとともに、食事を通して人間関係をよりよくすること。

(2) 日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全

ア 基本的な生活習慣の形成

身の回りの整理や挨拶などの基本的な生活習慣を身に付け、節度ある生活にすること。

イ よりよい人間関係の形成

学級や学校の生活において互いのよさを見付け、違いを尊重し合い、仲よくしたり信頼し合ったりして生活すること。

ウ 心身ともに健康で安全な生活態度の形成

現在及び生涯にわたって心身の健康を保持増進することや、事件や事故、災害等から身を守り安全に行動すること。

エ 食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成

給食の時間を中心としながら、健康によい食事のとり方など、望ましい食習慣の形成を図るとともに、食事を通して人間関係をよりよくすること。

(3) 一人一人のキャリア形成と自己実現

ア 社会生活、職業生活との接続を踏まえた主体的な学習態度の形成と学校図書館等の活用

現在及び将来の学習と自己実現とのつながりを考えたり、自主的に学習する場としての学校図書館等を活用したりしながら、学ぶことと働くことの意義を意識して学習の見通しを立て、振り返ること。

イ 社会参画意識の醸成や勤労観・職業観の形成

社会の一員としての自覚や責任をもち、社会生活を営む上で必要なマナーやルール、働くことや社会に貢献することについて考えて行動すること。

ウ 主体的な進路の選択と将来設計

目標をもって、生き方や進路に関する適切な情報を収集・整理し、自己の個性や興味・関心と照らして考えること。

(3) 一人一人のキャリア形成と自己実現

ア 現在や将来に希望や目標をもって生きる意欲や態度の形成

学級や学校での生活づくりに主体的に関わり、自己を生かそうとするとともに、希望や目標をもち、その実現に向けて日常の生活をよりよくしようとすること。

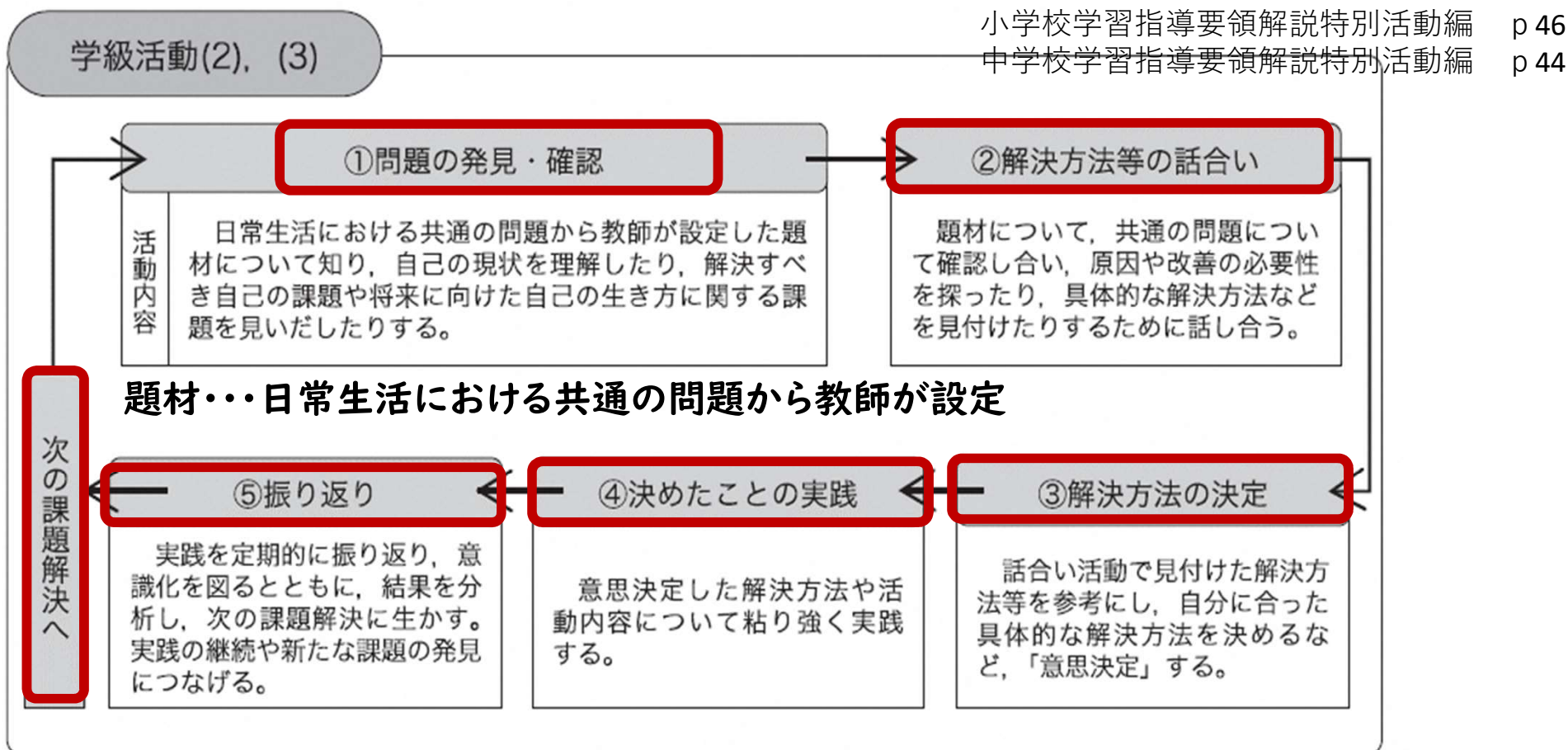
イ 社会参画意識の醸成や働くことの意義の理解

掃除などの当番活動や係活動等の自己の役割を自覚して協働することの意義を理解し、社会の一員として役割を果たすために必要となることについて主体的に考えて行動すること。

ウ 主体的な学習態度の形成と学校図書館等の活用

学ぶことの意義や現在及び将来の学習と自己実現とのつながりを考えたり、自主的に学習する場としての学校図書館等を活用したりしながら、学習の見通しを立て、振り返ること。

学級活動「(2) 日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全」、
学級活動「(3) 一人一人のキャリア形成と自己実現」の学習過程 (例)



はじめに

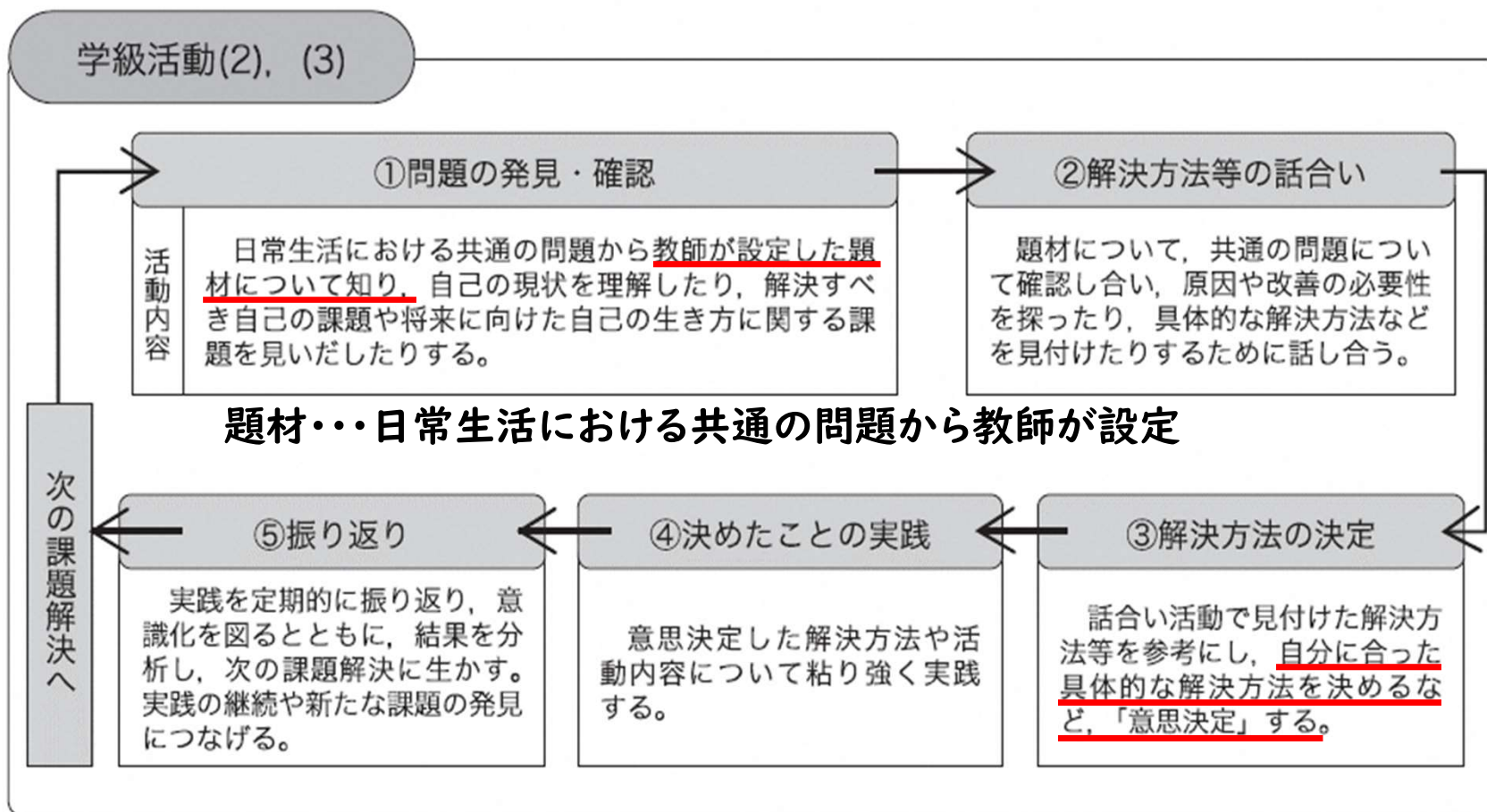
特別活動の
目標と内容

学級活動の
目標と内容

学級活動の授業の実際
(研修用動画の紹介)

学級活動「(2) 日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全」、
学級活動「(3) 一人一人のキャリア形成と自己実現」の学習過程（例）

学級活動(2), (3)



はじめに

特別活動の
目標と内容

学級活動の
目標と内容

学級活動の授業の実際
(研修用動画の紹介)



特別活動に関してご不明な点や相談
したいことなどがありましたら、ご連絡
ください。



浜田教育センター



連絡先 : 0855-23-6782
研究・研修スタッフ

特別活動出前講座

チーム学校で取り組む
特別活動（学級活動）の
授業づくり

オンデマンド編

島根県教育センター浜田教育センター